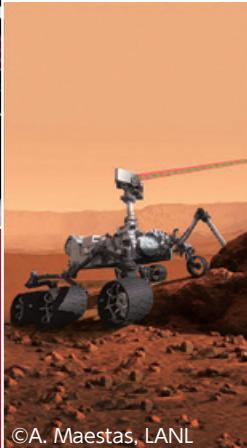


 OptoSigma®



©A. Maestas, LANL



# 第41期 報告書

2015年6月1日 ▶ 2016年5月31日

## Contents

- 株主の皆様へ
- 2016年5月期決算（連結）のポイント
- 2016年5月期業績（連結）
- 2016年5月期セグメント別概況（連結）
- 2016年5月期海外業績の概況（連結）
- 2017年5月期業績（連結）の見通し
- シグマ光機の光ソリューション
- シグマ光機の技術
- トピックス
- 株主様アンケート結果のご報告
- 配当政策
- 連結財務諸表
- 株式の状況／会社概要
- 株主メモ



Light Solutions for Life®  
未来に光るものづくり。

経営理念

我社は光産業を通じ、社会に貢献します。

「感謝」「挑戦」「創出」

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

私たちシグマ光機グループの使命は、無限の可能性のある「光」に、  
未来が求める形を与える「ものづくり」を通じて、社会に広く貢献していくことです。

そのため、シグマ光機グループでは、皆様の「暮らし」の様々な分野を、  
光技術の弛まぬ革新と価値ある製品・ソリューションの提供で支えていくという強い想いを、  
ブランド・ステートメントである「Light Solutions for Life®」に込め、皆様にお約束しています。

今後ますます発展が期待されるレーザ関連業界において、  
私たちは光ソリューション・カンパニーとして、「感謝」「挑戦」「創出」の想いを胸に、  
未来に向けた成長戦略の着実な遂行によって、持続的な成長と企業価値の最大化、  
そして着実な株主還元で、皆様のご期待にお応えしてまいります。

株主の皆様には、今後とも何卒ご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

シグマ光機株式会社

代表取締役社長 近藤 洋介

## 2016年5月期決算（連結）のポイント

### ●設備投資・研究開発投資の回復基調により産業分野の需要が増加

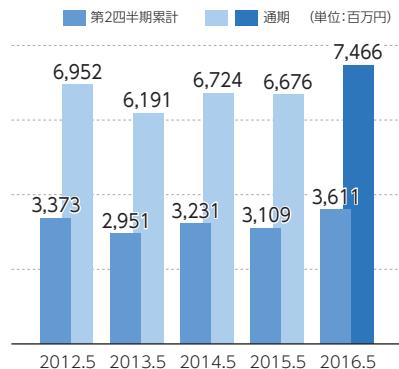
当期は、緩やかな景気の回復傾向にあった米国・欧州市場や一部のアジア市場については堅調に推移いたしました。また、設備投資・研究開発投資に持ち直しの動きが見られる国内市場での需要は増加傾向で推移いたしました。マーケット別では、大学・国立研究開発法人向け研究開発分野は横ばいでしたが、アジア市場のスマートフォン関連、米国市場のバイオ関連等の産業分野などの設備投資・研究開発投資の回復基調にけん引され堅調に推移し、連結売上高は前年同期比で増収となりました。

### ●利益率の高い製品の好調な販売動向と徹底したコスト圧縮により利益率が向上

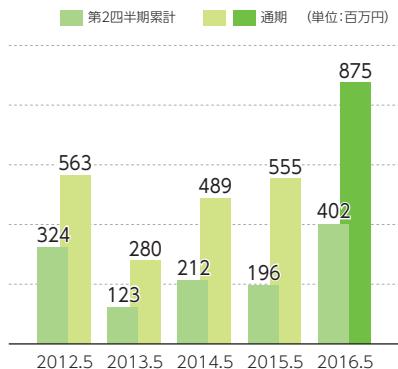
当期は、各製品セグメントとも堅調に売上高が伸長したことで、継続的な生産効率化と原価低減の推進により売上総利益率が向上いたしました。その中でも、光学システム製品において、付加価値の高いユニット製品の需要が伸び、当期は黒字転換したことが、売上総利益率の改善に大きく寄与いたしました。また、生産・販売・開発が連携した営業展開により販売促進費や旅費交通費は増加いたしました。新規の研究開発投資を抑制した結果、連結の各利益項目ともに前年同期比で増益となりました。

## 2016年5月期業績（連結）

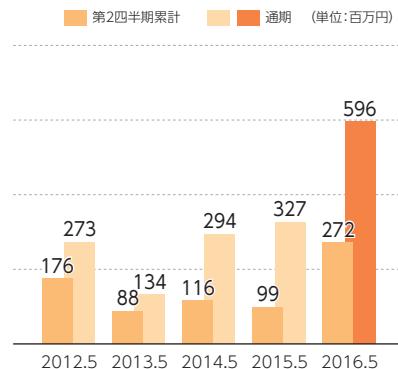
売上高 74億66百万円  
(前年同期比 11.8%増)



経常利益 8億75百万円  
(前年同期比 57.5%増)



親会社株主に帰属する当期  
(四半期)純利益 5億96百万円  
(前年同期比 82.5%増)



## ▶ 要素部品事業

### ■ 売上高

(単位：百万円)



**11.1%** 増

(前年同期比 6億28百万円増)

大学・国立研究開発法人向け研究開発分野においては、需要は横ばいで推移いたしました。民間企業向け研究開発分野及び産業分野においては、国内の研究開発投資・設備投資に持ち直しの動きが見られ、需要は堅調に推移いたしました。国内・アジア地域の携帯端末市場に関連する半導体業界向けやモバイル用FPD業界向けのレーザ加工機・検査装置組込み用の光学要素部品の需要は好調に推移いたしました。又、米国地域のバイオ業界・医療業界や半導体業界向け並びに欧州地域の研究開発分野向けの光学要素部品は、需要が堅調に推移いたしました。



## ▶ システム製品事業

### ■ 売上高

(単位：百万円)



**16.3%** 増

(前年同期比 1億62百万円増)

民間企業向け研究開発分野においては、国内産業分野での研究開発投資に持ち直しの動きが見られ、光学ユニット製品及び光学測定・分析装置製品、観察光学系システム製品の引き合いが増加傾向にあります。産業分野においては、バイオ業界向けの組込み用の光学ユニット製品は緩やかな増加基調で推移いたしました。又、国内・アジア地域を中心に、携帯端末市場に関連する半導体業界向けやモバイル用FPD業界向けのレーザ加工機・検査装置組込み用のレンズユニット等の光学ユニット製品の需要は好調に推移いたしました。



## 2016年5月期海外業績の概況（連結）

### ●海外グループ会社売上高

売上高(連結)  
7,466百万円



OptoSigma  
Europe  
309百万円



上海西格玛光机有限公司  
435百万円

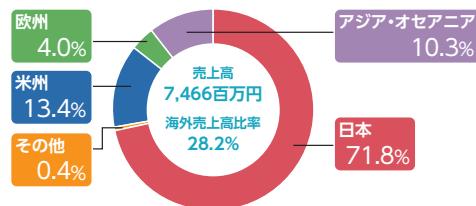


OptoSigma  
1,102百万円

(※企業グループの内部売上高を含む)

### ●顧客所在地別概況

#### ■海外売上高構成比



#### ■顧客所在地別売上高・営業概況

日本	5,363 百万円	研究開発投資・設備投資に持ち直しの動きが見られ、民間向け産業分野で好調に推移。足元では円高・株安が進行しており、輸出産業を中心とした需要の低迷を懸念。
米州	998 百万円	雇用環境の改善と個人消費の増加等の底堅い内需を背景とした回復基調を受けて、バイオ業界や医療業界向け組込み用途の光学要素部品の需要が引き続き堅調に推移。
欧州	301 百万円	地政学的リスク等の懸念材料はありつつも、雇用環境の改善、個人消費の増加等による景気の拡大基調を背景に、大学・官公庁向け研究開発分野を中心に需要が増加。
アジア・オセアニア	769 百万円	中国をはじめとする一部の新興国で経済減速が続く中、携帯端末市場に関連する半導体・モバイル用FPD業界向け光学要素部品及び光学ユニット製品の需要が堅調に推移。

## 2017年5月期業績（連結）の見通し

### ●グローバル市場への展開に向けた積極的な設備投資

当社グループは、グローバル市場への展開に向けた「ものづくり」力の強化を推進しています。中核技術を複合・融合した光学要素部品・光学システム製品の内製化の推進と、基礎技術開発の強化による高度化、耐環境性や高安定性等を備えた高付加価値化とともに、短納期化、コストダウン、品質向上を推進し、収益力の向上に全力を挙げて取り組んでまいります。

また、カタログラインナップの拡充とインターネットを活用した新たな販売展開等によって海外販売をこれまで以上に強化し、グローバル市場におけるプレゼンスを高めてまいります。

売上高	7,625百万円 (前期比 2.1%増)
営業利益	750百万円 (前期比 5.1%減)
経常利益	785百万円 (前期比10.3%減)
親会社株主に帰属する当期純利益	510百万円 (前期比14.5%減)

あなたの身近でレーザー光を活用した技術が使われています。



## 見えない所から、皆様の暮らしを支える光ソリューション

私どもシグマ光機が作るレーザー用光学要素部品は、これらの実用製品が作られる前段階、例えば、レーザー光の基礎研究を行う大学・官公庁の研究室の実験環境や、企業がレーザー光を使った製品を開発する段階、さらに皆様が実際に利用する製品の製造現場の生産設備検査設備に組み込まれています。

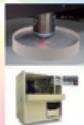
こんなところに  
シグマ光機



**半導体製造・検査装置  
液晶パネル検査装置**  
当社光学要素部品を組み込んだ検査装置を使って、対象物のキズや凸凹、異物の混入がないかを検査します。



**研究室等の実験環境**  
当社光学要素部品を使用した実験環境や試作機を利用して、原理の究明や新技術の確立を目指しています。



**レーザー加工機**  
当社光学要素部品等によりレーザー光を集光させて、高精密な切削や切断加工、刻印を実現します。



レーザー用光学要素部品とは、レーザー光の集光・反射などに利用するレンズやミラー、プリズム、そしてそれらを固定させるホルダーや対象物等の微細な移動を実現する位置決めステージなどを総称したものです。

シグマ光機は、このような研究機関や産業分野で活躍するレーザー用光学要素部品やそれらを組み合わせた光学ユニット・システム製品の設計・製造・販売までをワンストップで行う、国内トップブランドです。

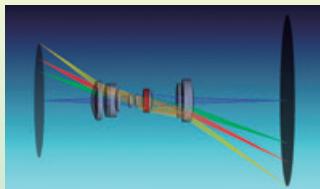
※CORAL (先導レーザー科学研究コンソーシアム)の調製風景

## シグマ光機の技術

シグマ光機は、レンズ設計からレンズ製作（研磨、コーティング）、組み立てまで社内一貫生産にて対応できます。今回は、レンズが出来るまでの製造工程をご紹介します。

### 1 設計

設計ソフトを使用し、使用する条件や目的に最適なレンズの形状を決定します。複数のレンズを組み合わせる場合、固定する際に必要な金枠等の設計も必要になります。



### 2 研磨



①素材をレンズの形状に成形します。



②レンズを球面の形状に研削します。砂がけして外形寸法を整えます。



③表面を透明に磨き上げます。面精度によっては、高度熟練技能が必要とされます。



④外周部を削り取って芯取りをします。

⑤外觀の傷や光の特性等进行检查してレンズの研磨工程は完了となります。

### 3 薄膜（コーティング）



コーティングの様子（左から外観、中）

- ①設計ソフトを使用し、膜設計を行います。
- ②レンズを洗浄し、外観検査を行いながら拭き上げます。
- ③設計通りにSiO<sub>2</sub>、MgF<sub>2</sub>等の膜材をコーティングします。
- ④光学特性評価・検査をし、希望の特性を満たしていれば完成です。

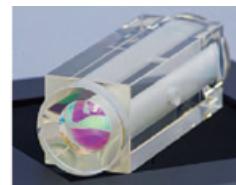


## シグマ光機のものづくりの挑戦

光学設計、機械加工、組み立て等の当社の中核技術の融合により、レーザ加工・測定・検査装置への組み込み用として、倍率・適応波長・NA・作動距離等の多様なニーズに対応した多品種のレンズユニットをラインナップしています。また、当社の低散乱研磨技術や超高反射率薄膜技術等の更なる向上を図り、より高性能な超高反射率・低損失レーザミラーの開発にも取り組んでいます。研磨技術・薄膜技術の向上は、光の波長を制御・測定する光共振器等の干涉計やレーザ加工システム等の高性能化・高出力化への活用が期待されます。



レーザ加工・検査装置用  
対物レンズ  
(左は1/4切断面)



スーパーミラーを利用した  
キャビティ  
(光共振器)

### 女性活躍推進に関する行動計画

当社は、女性の職業生活における活躍の推進に取り組んでまいります。

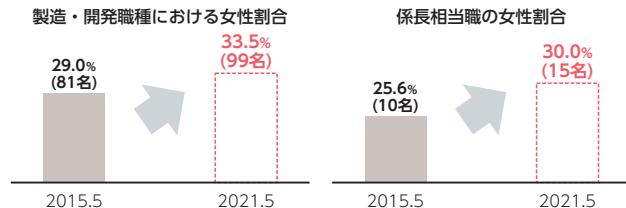
高い専門性を身につけた従業員が、様々なライフイベントの有無に関わらず、継続して働ける環境づくりを進めることで、女性従業員はもとより全ての従業員が仕事と家庭を両立しながら活躍できる環境を整えてまいります。

#### ■ 計画期間

2016年4月1日～2021年3月31日（5年間）

#### ■ 数値目標

- (1) 製造・開発職種における女性割合33.5%（99名）への向上
- (2) 管理職候補の母集団の形成のため、管理職の1つ下位の階層（係長相当職）の女性割合を現状の25.6%（10名）から30.0%（15名）への向上



#### ■ 現状の課題

- (1) 製造・開発職種における正規女性社員割合が29.0%（81名：2015年5月期末）
- (2) 管理職（課長補佐相当職以上）に占める女性割合が3.2%（2名：2015年5月期末）

#### ■ 取り組み内容



- (1) 新卒採用や正規・非正規の中途採用における技術系女性従業員の積極的な採用
- (2) 海外展示会等への女性を含む若手社員の積極派遣によるキャリア形成支援
- (3) 女性を含む全従業員が働きやすいように事業所の安全衛生環境の整備
- (4) 様々なライフイベントに関わらず長期勤務が可能な職場環境・会社制度を構築
- (5) 意欲・能力に応じたパート社員・派遣社員からの正規雇用への転換の促進

※詳細は、弊社ホームページをご参照ください。

### 社会貢献活動

#### 科学する心を育てる。人材育成・地域貢献活動

当社では、東京大学を中心として発足した大学院教育プログラムの「先端レーザー科学教育研究コンソシアム（CORAL）」をはじめ、大学・専門学会等での講義及び実習を実施しており、企業や大学・自治体と連携した「レーザ安全セミナー」を開催する等、光科学分野の人材育成と光技術の発展に取り組んでいます。また、2006年から10年以上にわたって、地域の小・中学生に「光の寺子屋（出張科学教室）」を展開し、次世代を担う子どもたちに「科学する心」の大切さを伝えています。

当社は、このような社会貢献活動を今後も継続的に取り組んでまいります。

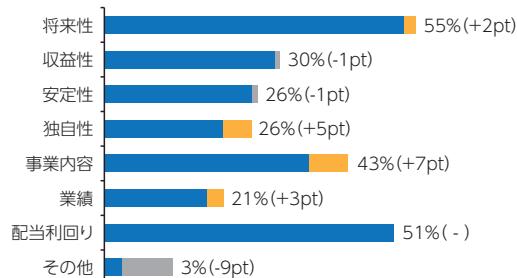


## 株主様アンケート結果のご報告

株主様アンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。

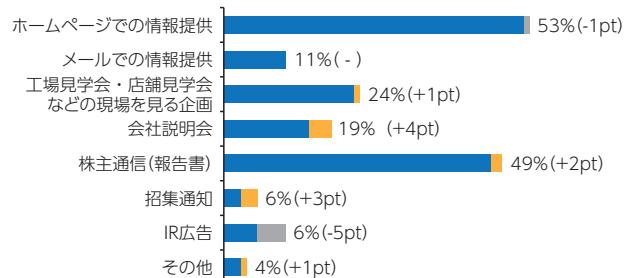
第41期中間報告書で実施させていただきましたアンケートにつきまして、アンケート対象の全株主様3,867名（2015年11月30日時点）の約2%に相当する80名の株主様からのご回答をいただきました。お寄せいただきましたご意見・ご要望等は、今後の会社経営及びIR活動に活かしてまいります。

### ●当社株式を購入された理由



※括弧内は、対第40期期末比

### ●充実を期待するIR活動



※括弧内は、対第40期中間比

## 株主様からのご意見

**Q** 御社技術の独自性や優位性が今少し周知されていません。株主通信などでもっと具体的な情報提供していただきたい。

**A** 当社技術の独自性や優位性につきまして、事業報告書やWebサイトでご覧いただけるように内容の充実を図ってまいります。今回は、当社中核製品であるレンズの製造工程と弛まぬ技術革新による高付加価値製品の開発等の当社の「ものづくり」力について、p.6「シグマ光機の技術」に掲載いたしました。

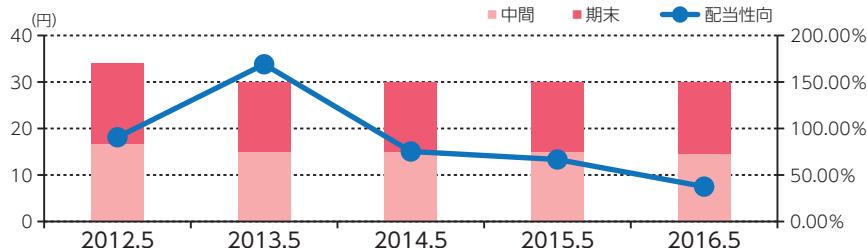
**Q** 独自の製品技術をもっと伸ばして、今後の更なる成長を期待しています。

**A** 当社は、光ソリューションをワンストップで提供できる技術力を活かして、大学・官公庁及び民間企業向け研究開発分野の高難度案件にも積極的に取り組んでいます。最先端の研究開発分野で培った技術力を基に、製品ラインナップを一層拡充し、新規市場開拓にも取り組んでまいります。

## 配当政策

長期的な成長と財務体質の強化とのバランスのとれた積極的かつ安定的な配当政策

配当金、配当性向推移



## 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当 期	前 期
	2016年5月31日現在	2015年5月31日現在
(資産の部)		
流動資産	8,007	7,428
固定資産	6,339	6,537
有形固定資産	2,837	2,952
無形固定資産	173	217
投資その他の資産	3,328	3,367
資産合計	14,347	13,966
(負債の部)		
流動負債	1,772	1,505
固定負債	901	951
負債合計	2,673	2,456
(純資産の部)		
株主資本	11,426	11,055
その他の包括利益累計額	199	406
非支配株主持分	47	48
純資産合計	11,673	11,510
負債・純資産合計	14,347	13,966

## 連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当 期	前 期
	2015年6月 1日から 2016年5月31日まで	2014年6月 1日から 2015年5月31日まで
売上高	7,466	6,676
売上原価	4,467	4,052
売上総利益	2,999	2,623
販売費及び一般管理費	2,208	2,188
営業利益	790	435
経常利益	875	555
親会社株主に帰属する当期純利益	596	327

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	当 期	前 期
	2015年6月 1日から 2016年5月31日まで	2014年6月 1日から 2015年5月31日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	995	435
投資活動による キャッシュ・フロー	△467	△209
財務活動による キャッシュ・フロー	△396	△185
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△97	124
現金及び現金同等物の 増減額	34	165
現金及び現金同等物の 期首残高	2,616	2,450
現金及び現金同等物の 期末残高	2,650	2,616

## 》 解 説 ポ イ ン ト

### ● 連結貸借対照表

#### <資産の変動>

流動資産は、有価証券が2億8千3百万円、棚卸資産が1億6千8百万円増加したこと等により前期末比7.8%増加いたしました。固定資産は、建物及び構築物が9千7百万円、投資不動産が4千2百万円減少したこと等により前期末比3.0%減少いたしました。

この結果、総資産は、前期末比で2.7%増加いたしました。

#### <負債の変動>

流動負債は、未払法人税等が1億3千8百万円、支払手形及び買掛金が1億1千5百万円増加したことなどにより前期末比17.7%増加いたしました。

固定負債は、長期借入金が1億2千万円減少し、退職給付に係る負債が9千8百万円増加したこと等により、前期末比5.2%減少いたしました。

その結果、負債合計は、前期末比で8.8%増加いたしました。

#### <純資産の変動>

純資産は、前期末比で1.4%増加し、自己資本比率は81.0%となりました。

### ● 連結キャッシュ・フロー計算書

当期の現金及び現金同等物の期末残高は26億5千万円となり、前期末比3千4百万円の増加となりました。

営業CFは、主に税金等調整前当期純利益、減価償却費、仕入債務の増額により増加し、棚卸資産の増額、法人税の支払い等により減少いたしました。

投資CFは、有形・無形固定資産の取得による支出で減少いたしました。

財務CFは、主に長期借入による収入で増加し、長期借入金の返済による支出、配当金の支払いにより減少いたしました。

## 株式の状況／会社概要

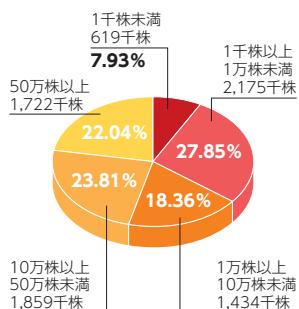
### 株式の状況 (2016年5月31日現在)

- ①発行可能株式総数 32,000,000株  
 ②発行済株式の総数 7,811,728株  
 ③株主数 3,936名  
 (前期末比92名増)  
 ④主要株主

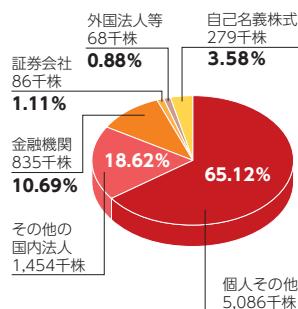
株主名	所有株数 (千株)	持株比率 (%)
浜松トトニクス株式会社	1,000	13.28
森 聡二	722	9.59
シグマ光機取引先持株会	421	5.60
シグマ光機従業員持株会	249	3.32
株式会社埼玉りそな銀行	203	2.70
富国生命保険相互会社	200	2.66
株式会社サンライズクリエート	164	2.19
杉山大樹	131	1.74
株式会社三井住友銀行	110	1.46
三井住友信託銀行株式会社	100	1.33

- (注) 1. 所有株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。  
 2. 持株比率は、小数点第3位以下を四捨五入して表示しております。  
 3. 持株比率は、自己名義株式 (279,372株) を控除して計算しております。

### 所有株数別株式分布状況



### 所有者別株式分布状況



- (注) 1. 所有株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。  
 2. 持株比率は、小数点第3位以下を四捨五入して表示しております。  
 3. 自己名義株式 (279,372株) を含んでおります。

### 会社概要 (2016年8月30日現在)

社名	シグマ光機株式会社
本社	埼玉県日高市下高萩新田17番地2
設立	1977年 (昭和52年) 4月
資本金	26億2,334万円
従業員数	337名 (2016年5月31日現在)
役員	代表取締役会長 森 聡二 代表取締役社長 近 藤 洋 介 取締役 菊 池 健 夫 取締役 中 村 良 二 取締役 大 野 昭 夫 取締役 小 林 祐 二 常勤監査役 山 口 秀 一 監査役 大 野 隆 久 監査役 野 崎 昭 司

- (注) 1. 大野昭夫氏及び小林祐二氏の2氏は社外取締役であります。  
 2. 社外取締役 大野昭夫氏は、独立役員であります。  
 3. 大野隆久氏及び野崎昭司氏の2氏は社外監査役であります。

### ❖ 主な事業所

- 本社・日高工場 ● 東京本社 ● 大阪支店
- 九州営業所 ● 能登工場 ● 技術センター

### ❖ 関連会社

- OptoSigma Corporation
- OptoSigma Europe S.A.S.
- 上海西格瑪光机有限公司
- タックコート株式会社

### 当社の報告書は、「UDフォント」を採用しています

視認性、判読性に優れたユニバーサルデザイン(UD)書体を使用し、弱視・老眼等視力の低下にお悩みの方にも読みやすいよう配慮をしております。



## 株主メモ

事業年度 毎年6月1日から翌年5月31日まで  
定時株主総会 毎年8月開催  
基準日 定時株主総会 毎年5月31日  
期末配当金 毎年5月31日  
中間配当を行う場合は、毎年11月30日

単元株式数 100株  
公告方法 電子公告とする。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行く。  
電子公告URL <http://www.sigma-koki.com/>

### 【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。証券会社の口座のご利用がない株主様は、下記の【特別口座について】をご確認ください。

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社  
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
(郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先)  **0120-782-031** (通話料無料)  
(インターネット ホームページURL)  
<http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

### 【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、みずほ信託銀行株式会社に口座(特別口座といます。)を開設しております。左記株主名簿管理人とはご照会先及び住所変更等のお届出先が異なりますのでご注意ください。

### 〈特別口座に関するご照会先〉

(特別口座 口座管理機関) みずほ信託銀行株式会社  
(郵便物送付先) 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部  
(電話照会先)  **0120-288-324** (通話料無料)

## 株主の皆様の声をお聞かせください

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。

お手数ではございますが、

アンケートへのご協力をお願いいたします。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を進呈させていただきます

 <http://www.e-kabunushi.com>  
アクセスコード 7713

いいかぶ

検索

 空メールにより URL自動返信 kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

 携帯電話からもアクセスできます QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。



※本アンケートは、株式会社 a2media(イー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。  
(株式会社 a2mediaについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>)

※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」TEL:03-5777-3900(平日10:00~17:30) MAIL:info@e-kabunushi.com

 **シグマ光機株式会社**  
東京本社 東京都墨田区緑1-19-9  
TEL.03-5638-8221 (総務部)

 UD  
FONT

 ミックス  
責任ある木質資源を  
使用した紙  
FSC® C013080

 VEGETABLE  
OIL INK